

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・家庭・地域とのつながりを大切に、豊かな心を育む活動が進んだ。児童の自己肯定感や役割意識が向上したが、学びを日常生活に活かす取り組みがさらに必要である。
・楽しくわかる授業づくりと校内研究が充実し、児童の学習意欲が高まり、授業の改善が進んだ。教科間で統一したアプローチが求められる。
・地域との連携と貢献活動が進み、児童は学校行事を楽しんでいる。地域との協力体制をさらに強化する必要がある。
・特別支援教育とユニバーサルデザインを意識した指導が充実し、全児童に対応した環境が整った。支援が必要な児童への更なるサポートが求められる。
・安心・安全な教育環境が確保され、いじめの認知件数が少なく、児童は学校生活を楽しんでいる。いじめ防止対策のさらなる強化が必要である。

2 学校教育目標
自ら学自ら学び 心豊かに 笑顔輝く 津保美っ子の育成 ~つなぐ~

3 本年度の重点目標
① 家庭・地域とのつながりを大切にしながら育む豊かな心(出番・役割・承認)の醸成
② 児童がより楽しくわかる授業づくりと校内研究の充実
③ 地域とともに歩み、地域へ貢献できる学校の推進
④ 特別支援教育・UD(ユニバーサルデザイン)を基盤とした教育の充実
⑤ 安心・安全な教育環境の充実

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価 最終評価 学校関係者評価
●学力の向上
●心の教育
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改革の推進
●特別支援教育の充実

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組 成果指標(数値目標) 具体的取組 中間評価 最終評価 学校関係者評価
○志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
各主任・担当を中心に教育課程を着実に実施し、授業改善に継続して取り組んだことで、日常の指導の安定と質の向上が図られた。研究や学力向上策も計画的に進み、組織的実践が定着できた。今後は児童の実容やデータを活用し、成果を明確に示しながら改善サイクルを一層充実させていく必要がある。